



令和元年度 南小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室 (TEL：055-983-2708)

10月15日(火)に開催された「令和元年度南小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日のご発言やご意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。(三島市のホームページにも掲載しています)

なお、アンケートに記載してありました『地域支え合い会議』のご案内につきましては、地域包括ケア推進課より送付いたします。

■開催概要■

日時	令和元年10月15日(火) 19:00~20:45		
会場	消防署		
参加団体	新谷自治会 玉川自治会 藤代町町内会 モナーク三島自治会 ウイステリア三島青木自治会 青木保育園 青木保育園父母の会	南幼稚園 南幼稚園PTA のびる幼稚園 のびる幼稚園PTA 南小学校 南中学校 南中学校PTA	学校支援地域本部 スポーツ推進委員 体育振興会 民生委員・児童委員 地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会 子ども会連合会 出席者:25名

■次第■

19:00

開会・市長あいさつ

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 「コミュニティ連絡会について」 | 4 「ワークショップ」 |
| 2 「各団体からの情報発信」 | 5 「その他」 |
| 3 「現在の状況と事例発表」 | 6 「アンケート記入」 |

20:45

市長あいさつ・閉会



「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」のまとめ

今回の連絡会の全体のテーマである「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」を元に「三世代交流・居場所の活用」及び「見守りのある地域づくりに向けて」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、テーブルごとに意見交換をしました。

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。

	三世代交流・居場所の活用
	見守りのある地域づくりに向けて

■グループ別のまとめ

1グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

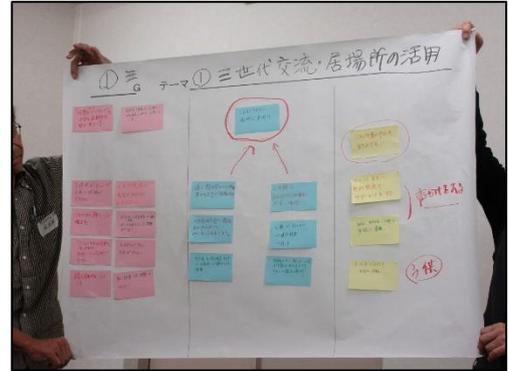
・コミュニティカフェを実施し、地域づくりに貢献している。一方でカフェ自体に子どもたちの交流が少ないので、三世代交流の場になっていない上、世代間交流をしていない。

■理想の目指す地域

・地域の人が1人にならないよう、声かけをする。

■具体的なアイデア

- ・スタッフを集めサロンを立ち上げる。
- ・イベント当日に町内放送で参加を呼びかける。
- ・自治会や地域の方の声かけ運動をする。
- ・高齢者だけではなく、子どもたちもイベントに参加できる地域づくりをする。



2グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

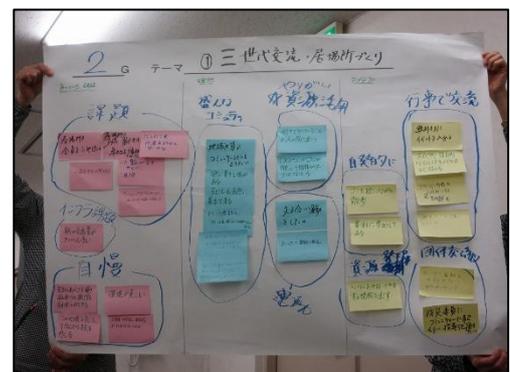
- ・居場所がいい。
- ・マンションに住んでいる方でもイベントに協力してくれる方がいる。
- ・環境が美しい。

■理想の目指す地域

- ・資源を活用する。
- ・地域の人たち、高齢者、子どもたちが自然と集まり、いろいろな人たちが遊ぶことができるイベントの開催。
- ・地域でコミュニケーションを図る。

■具体的なアイデア

- ・ゴミ拾いをしながら散歩をする。
- ・誰もが興味を引くようなイベントの開催。
- ・全ての人たちが集まり、1つになれるようなイベントの開催。



3グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

- ・居場所がなく交流ができない。
- ・子ども会が消滅した。
- ・高齢者だけでかたまってしまう。
- ・おやじの会という素晴らしい事例をもってもバラバラになってしまった。
- ・イベントに参加できていない町内会が2つある。

■理想の目指す地域

- ・三世代が交流できる場をつくる。
- ・子どもから高齢者まで誰でも交流ができる場所がある地域。
- ・関わりたい人が関わりたい時に一緒に過ごすことができる場がある地域。

■具体的なアイデア

- ・昭和に作った枠を撤廃する。町内の枠を超える。
- ・子どもや高齢者の枠や年齢による区切りをなくす。



4グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

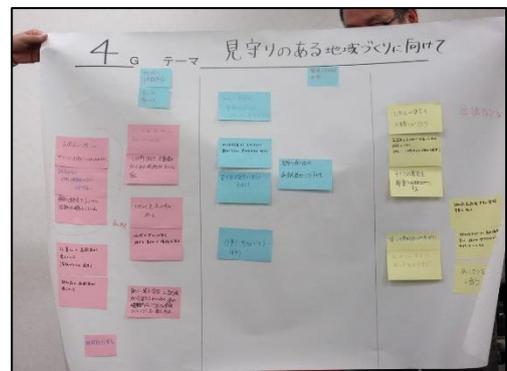
- ・子ども会がないので、子どもがどこにいるか分からない。
また、近所の同年代の子が分からない。
- ・親の都合で子どもの活動が縮小されている。

■理想の目指す地域

- ・高齢者と子どもが見守り合う社会。
- ・声かけできる地域。

■具体的なアイデア

- ・高齢者と子どもが触れ合うことができる機会を作る。
- ・子ども会の運営を高齢者が行う。
- ・子どもの意見を尊重する。



5グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

- 温水池があるおかげで、野鳥が飛来する。
- 自然があり、環境が良い。
- 市役所や消防署などの行政機関が揃っている。

■理想の目指す地域

- 中学生が地域で活躍できる。
- 高齢者や子どもなど地域の人たちがイトーヨーカ堂の広場に集まることができるイベントの開催。
- 世代を越えて輝くことができる地域。

■具体的なアイデア

- 古くから行われている行事を大切にし、未来へとつなげる。
- 子世代、親世代、シニア世代の三世代みんなで1つの企画を考える。
- ららぽーとに負けない地域づくりをする。



6グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- スクールガードが具体的に組織されていない。
- 子どもの見守りを自発的にしてくれる人たちがいる。
- 自治会や町内会同士の横のつながりが良く、しゃぎり等を通じて連携が取れている。

■理想の目指す地域

- 複数の組織が協働で地域のつながりを大切にする。
- 学校を核にしたコミュニティの醸成。

■具体的なアイデア

- 自治会や町内会、学校の「見える化」。
- コミュニティ連絡会の協議会化。
- 個人の方も気軽にイベントに参加できるような、箱型の組織を作り、そこに意見を落とし込む。

